



こんにちは
横浜市議員

日本共産党
週刊ニュース

宇佐美 さやか

2016年 2月10日号
日本共産党神奈川県事務所

横浜市神奈川区西神奈川3-2-17
電話：491-6843、FAX：491-6892
http://www.usami-sayaka.jp//

横浜市2016年度予算案について見解

～安倍政治の忠実実行予算～

日本共産党横浜市議団は、2月1日に発表された2016年度横浜市予算案について、見解を発表しました。

予算案には、「国が推進する国家戦略特区や地方創生、一億総活躍社会の実現などと連携した施策を推進」と明記されており、アベノミクスの忠実な実行者の姿が見えてきます。

突出した大型開発事業費

それを裏付けるように、施設等整備費は前年度比3%減ですが、大型公共事業は右のように大幅増です。

大型開発事業の突出ぶりは、高速道路、巨大ふ頭に限りません。カジノ誘致先として有力視されている山下ふ頭の再開発には、倉庫など既存施設の移転補償、用地取得費など135億円が特別会計として組まれています。また、カジノをふくむIR等の新たな都市づくり検討として、前年度と同額の1,000万円を計上しています。

「エキサイトよこはま22」の横浜駅周辺のまちづくり費は10億円、市街地の再開発事業費は前年度比倍加の50億円です。

総額749億円の新市庁舎整備費について、今年度は基本・実施設計などに17億円。推定事業費約300億円規模の文化体育館再整備には2,500万円投じます。みなとみらい21地区20街区での展示場・会議棟施設(MICE)整備費は5,000万円ですが、市の最終負担額は約500億円となります。

一方、市営住宅など公的住宅提供は、前年度比3割減の24億円です。子育て世帯向け賃貸住宅の新規認定が230戸されるものの、市営住宅の新規建設はゼロです。

市民の声と運動で実現

市民の声と運動のひろがりのなかで実現したものもあります。

延焼危険地域での不燃化建物工

2016年度横浜市予算案 (対前年度比)

一般会計 1兆5,200億円 (+2%)

巨額な大型開発事業

国際戦略港湾整備	167億円	(+197%)
横浜環状道路整備	530億円	(+156%)
山下ふ頭再開発	135億円	(+2,948%)

市民要求が一部実現

- ・延焼危険地域での不燃化建物工事費
- ・防災用屋外スピーカーの設置(瀬谷区境川流域)
- ・寄り添い型学習支援の全区実施
- ・放課後児童クラブの常勤職員の処遇改善
- ・救急隊の3隊増
- ・性的少数者支援事業(新規)
- ・にんしんSOSヨコハマ 365日開設
- ・児童相談所職員10人増加

工事費の助成戸数のほぼ倍加、防災用屋外スピーカーの設置、子どもの貧困対策としての寄り添い型学習支援の全区実施、学童保育クラブでの常勤職員の処遇改善、救急隊の3隊増などです。

これらは日本共産党議員団が議会で取り上げ、市民とともに求めていたものです。

予算議会開催中

いま地方政治が優先して取り組むべき仕事は、安倍政権のもとで消費税増税、非正規雇用の拡大、年金・医療・介護・生活保護の切り下げ・負担増に苦しむ市民の暮らし、福祉を応援することです。

日本共産党市議団は、公約の実現と市民施策の拡充をすすめるために、予算議会では提案型の質問に心掛け、共同の輪をひろげ、予算組み替え提案をふくめ、全力をあげる決意です。

横浜市議会が2月2日から3月25日までの日程で開催中です。多くのおみなさんの傍聴をお待ちしております。

